

令和 4 年度 部局目標事業シート

部局名	市民環境部
部局長名	笠屋 真一

優先順位	事業名	区分	所属名
No.1	ごみ減量と資源化事業	(既存・維持)	市民衛生課
No.1	マイナンバーカード交付促進事業	(既存・維持)	市民課
No.1	まちづくり提案活動事業	(既存・維持)	市民協働課
No.2	国際交流事業	(既存・維持)	市民協働課

令和 4 年度部局目標事業シート

No. 1

事業名	ごみ減量と資源化事業	(既存・維持)	部局名	市民環境部
			所属名	市民衛生課

◆事業の概要

R 4 年度実施内容	▶香芝市環境基本計画(第二次)の「3Rの推進」の具体的な取組事項として「ええもんクルっと市・コーナー」の開催 [手 法] 再使用可能なモノを拠点回収し時期を決めて配布 [スケジュール]・クルっと市:回収配布イベントを実施(年3回) ・クルっとコーナー:配布のみの常設コーナーの設置、拡大版のコーナー+の開催(毎月実施) [目 標 値]・クルっとコーナーの毎月開催(クルっと市はコロナに影響されるため開催回数は目標値とはしない) ※無料配布だけではなく有料配布も検討、食器類以外の品目も検討
期待できる効果 (展望)	・事業実施を通して、ごみ減量と資源化を推進するための手法「3R」のうち、リユース(再使用)をより身近なものとして感じてもらい、市民の行動変容に繋げる効果が期待できる。 ・不要なものでも、使用可能なものは捨てるのではなく、再使用することができる(捨てなくてもいい)という意識を通して、3Rのうちまず初めに取り組むべき、リフューズ(発生抑制)に繋げる効果が期待できる。

◆事業実施にかかるコスト

(単位:円)

(会計名)		予算額	経費 内容	
		R 4 年度		
歳出	事業費(自動計算)	0		
財源内訳	特定財源(自動計算)	0		
	国県支出金	0		
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	0		

令和 4 年度部局目標事業シート

No. 1

事業名	マイナンバーカード交付促進事業（既存・維持）	部局名	市民環境部
		所属名	市民課

◆事業の概要

R 4 年度実施内容	国が令和4年度末にほとんどの住民がマイナンバーカードを保有していることを想定し、マイナポイント事業や保険証への利用など様々なシーンでのマイナンバーカードの利活用を進めている。そのために交付促進を行い、マイナンバーカードの交付を進める必要がある。
期待できる効果（展望）	マイナンバーカードを基盤とした様々なサービスによる利便性の向上。香芝市についてはコンビニで住民票や印鑑証明書の交付を受けられることによる市民サービス向上とコンビニ交付利用率の上昇による市民課窓口の混雑緩和や将来的な人件費の削減。

◆事業実施にかかるコスト

（単位：円）

（会計名）		予算額	経費 内容	<財源内訳> 国庫支出金：マイナンバーカード事務費補助金（補助率10/10） <予算科目> 需用費 消耗品費 写真撮影消耗品 18,000円 役務費 通信運搬費 マイナンバーカード送付 100通×624円×12ヶ月＝748,800円
一般会計		R 4 年度		
歳出	事業費（自動計算）	766,800		
財源内訳	特定財源（自動計算）	766,800		
	国庫支出金	766,800		
	地方債			
	その他			
一般財源				

令和 4 年度部局目標事業シート

No. 1

事業名	まちづくり提案活動支援事業（既存・維持）	部局名	市民環境部
		所属名	市民協働課

◆事業の概要

R 4 年度実施内容	4～5月 まちづくり提案活動支援事業を募集し、5月に審査会を実施する。予算に余裕があれば8～9月に追加募集を実施する。また、4月に前年度採択団体による成果報告会を行う。
期待できる効果（展望）	市民活動が活性化し、市民同士のつながりが強化され、魅力的なまちづくりにつながる。

◆事業実施にかかるコスト

（単位：円）

（会計名）		予算額	経費 内容	報酬：まちづくり提案活動支援事業審査委員報酬 125,000円 5,000円×5名×5回 旅費：審査委員の旅費 24,000円 消耗品費：コピー代等 5,000円 食糧費：審査委員お茶代 3,000円 通信運搬費：郵便料 14,000円 負担金補助及び交付金：まちづくり提案活動支援事業補助金 3,800,000円
一般会計		R 4 年度		
歳出	事業費（自動計算）	3,971,000		
財源内訳	特定財源（自動計算）	0		
	国県支出金			
	地方債			
	その他			
	一般財源	3,971,000		

令和 4 年度部局目標事業シート

No. 2

事業名	国際交流事業	(既存・維持)	部局名	市民環境部
			所属名	市民協働課

◆事業の概要

R 4 年度実施内容	CIR(国際交流員)を活用し、国際交流事業を充実させる。 開催予定 (1) CIRによるスイスの紹介、CIRと市内在住外国人との対談 (2) ふれあいフェスタでのスイス紹介ブース出展 (3) クリスマス装飾制作 (4) 市内小中学校・幼稚園・保育所・こども園等での講演
期待できる効果 (展望)	市民が異文化に触れることで、さまざまな文化のあり方や考え方、価値観、感じ方の違いを認め合える風土を醸成する。

◆事業実施にかかるコスト

(単位:円)

(会計名)		予算額	経費 内容	報償費:国際交流事業協力者謝礼 20,000円×2名=40,000円 消耗品費:コピー代、書籍購入費等 88,000円 使用料及び賃借料:31,000円 会場借上料 6,000円 CIRイベント機械借上料 25,000円
一般会計		R 4 年度		
歳出	事業費(自動計算)	159,000		
財源内訳	特定財源(自動計算)	0		
	国県支出金			
	地方債			
	その他			
	一般財源	159,000		